

泌尿器科紀要

第32巻 第1号 1986年1月

腎細胞癌の腫瘍側因子と予後について……………	五十嵐辰男・ほか…	1
原発性腎盂腫瘍の臨床的検討……………	内田 豊昭・ほか…	11
原発性尿管腫瘍の臨床的検討……………	内田 豊昭・ほか…	19
尿路結石症の研究—結石形成腎および腎結石の組織化学的研究—……………	蔡 紹謨…	27
膀胱癌に対する Cisplatinum と Sodium Thiosulfate による		
2 経路化学療法……………	関根 英明・ほか…	43
CTと尿道鏡の併用による前立腺重量の推定……………	南谷 正水・ほか…	49
Etretinate のヒト精子形成能におよぼす影響……………	鈴木 明・ほか…	55
プラズミンで術前管理した褐色細胞腫の3例……………	佐々木美晴・ほか…	61
原発性アルドステロン症の3例(術後心合併症1例を含む)……………	江尻 進・ほか…	67
転移性腎腫瘍の2症例……………	谷亀 光則・ほか…	77
経皮的腎瘻設置にて対処した尿管結石の2例		
—腎盂自然破裂をともなる尿管結石例と		
腎機能低下をともなる両側尿管結石例—……………	西野 昭夫・川口 光平…	85
石灰化をともなった多房性腎嚢胞の1例……………	山西 友典・ほか…	91
脊損患者に発生した膀胱癌の1例……………	入澤 千晶・ほか…	99
原発性女子尿道悪性黒色腫—症例および文献的考察—(英文)……………	吉田 和弘・ほか…	105
前立腺乳頭状腺癌の1例……………	郷司 和男・ほか…	113
前立腺横紋筋肉腫の1例……………	伊藤 博・ほか…	119
性腺形成不全をともなった46, Xp+, Y の1例……………	堀 夏樹・ほか…	125
Kallmann 症候群の2例……………	近藤 福次・ほか…	129
前立腺肥大症に対する Cernilton® の臨床評価……………	林 淳二・ほか…	135
複雑性尿路感染症に対する piperacillin の臨床的検討……………	池内 隆夫・ほか…	143
淋菌性感染症の疫学的・治療学的研究 Sultamicillin による検討……………	熊本 悦明・ほか…	151
泌尿器科手術後のアデラビン9号の使用経験……………	近藤 和秀・ほか…	163

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M. D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto Japan 606
京都大学医学部泌尿器科学教室

購読要項 (1986年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料8,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部あて、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

投稿規定 (1986年1月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
 2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
 - (1) 普通論文の長さは、原則として、刷上り本文5頁(400字×20枚程度)図(Fig)10枚、表(Table)10枚までとする。
 - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプし、年号は西暦とする。
 - (イ) 原稿の表紙に標題、所属機関名、主任名、著者名の順に和文で併記する。下段に筆頭著者名と、2語からなる running title を付す。
(例：山田・ほか：前立腺がん・PSAP)
 - (ロ) 英文抄録：和文の表紙、本文とは別に標題、著者名、所属機関名、5語(英文)以内の Key words、抄録本文の順にダブルスペースでタイプし、その和訳をつける。
 - (3) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、主任名、Key words(和文に準ず)、running title(和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、主任名、抄録の順に記した和文抄録を付す
 - (4) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μ g, %, $^{\circ}$ C, pH などとする。
 - (5) 図、表、写真などはすべて別紙とし、写真はトリミングする。説明文は一括して記載し和文、英文を問わず Table 1., Fig. 2. などとする。英文が望ましい。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。図・表は誤りのないことを確認のうえ、
- 編集委員： 石神 義次 前川 正信
 園田 孝夫 友吉 唯夫
- トレースして紙焼したものが望ましい。様式については本誌の図・表を参照する。
- (6) 引用文献は必要最小限にとどめ、引用個所を本文中に入れる。その数は30までが望ましい。和文は楷書で、欧文はタイプする。
(例：山田^{1,3,7)}, 田中ら^{1,3-10)}によると)
雑誌の場合—著者名(全員)：題名。雑誌名
巻：最初頁～最終頁、発行年
単行本の場合—著者名(全員)：題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年
 - (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。
 - (8) 投稿原稿は編集委員会においてその採否を決定し、それに従って編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。
 - (9) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部がおこなう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。
3. 掲載
 - (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
 - (2) 紙代、印刷費、製本代は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後におこなう。論文の長さが超過した場合、超過料を別途に申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などにかんする研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。
 4. 別刷

実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

宮崎 重 新谷 浩
吉田 修(主幹)